

【出品状況】

部門	一般出品数	入選数	特別出陳	総陳列数
日本画	14	14	6	20
洋画	51	51	9	60
彫刻	10	10	6	16
工芸	37	37	6	43
書	25	25	12	37
写真	71	71	8	79
イラスト	22	22	3	25
合計	230	230	50	280

※特別出陳・・・審査員、出品委嘱者、市展委員、無鑑査資格者

【審査員】（敬称略）

日本画	水野 収	（日展特別会員、奈良芸術短期大学公開講座講師、松伯美術館館長）
洋画	黒川 彰夫	（二科会会員（理事）、嵯峨美術大学名誉教授）
彫刻	笹山 幸徳	（日展彫刻特別会員、兵庫教育大学名誉教授）
工芸	井隼 慶人	（日展理事、日本新工芸家連盟会長）
書	山本 南竹	（日展会友、元読売書法会理事）
写真	金澤 徹	（成安造形大学名誉教授、日本写真芸術学会理事）
イラスト	横山 夢	（成安造形大学非常勤講師）

【批評会】 令和7年11月22日（土） 14:30 ～

キラリエ草津（市民総合交流センター） 5階・6階

【表彰式】 令和7年11月22日（土） 16:00 ～

キラリエ草津（市民総合交流センター） 1階 多目的室

【後 援】（順不同）

朝日新聞大津総局・毎日新聞大津支局・読売新聞大津支局
 中日新聞社・京都新聞・NHK大津放送局・KBS京都
 BBCびわ湖放送・株式会社えふえむ草津・草津市教育会・草津商工会議所
 草津ライオンズクラブ・草津ロータリークラブ・草津美術協会
 草津市21世紀文化芸術推進協議会・草津市国際交流協会
 レーク滋賀農業協同組合・公益財団法人草津市コミュニティ事業団
 社会福祉法人草津市社会福祉協議会・株式会社平和堂

市展賞

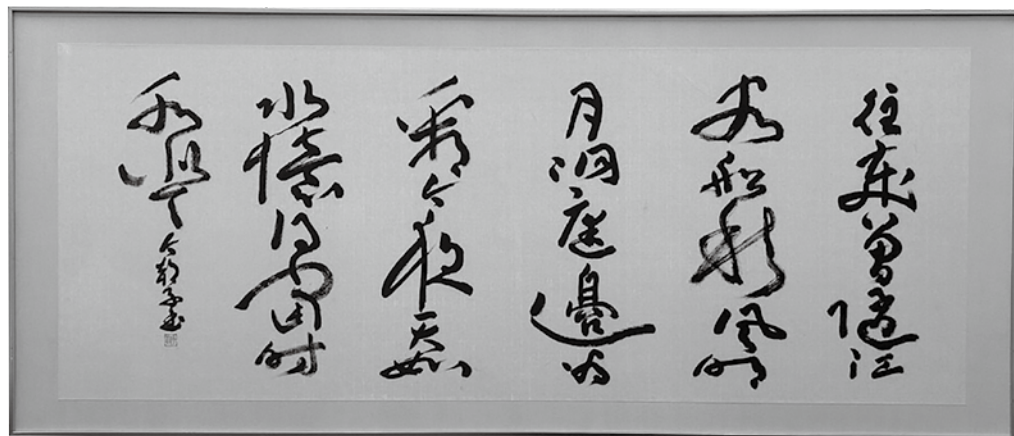


日本画

《碧い扉》
西野 薫

工芸

《(切り絵) 天井
に棲む龍》
藤本 信也



書

《蘇軾詩》
山田 今朝子

写真

《収穫のよろこび》
田中 康明



洋画

《生き抜く姿》
山本 清子



彫刻



《優》 廣瀬 一行

イラスト

《夢のような光景》
佐野 いおり

日本画

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1		春に歌えば	瀬尾 節子
2	草津市教育長賞	山寺	太田 由紀子
3	市展賞	碧い扉	西野 薫
4	特選	タコノキ	仲川 千秋
5	審査員	翠韻	水野 収
6	市展委員	春 静か	早川 裕子
7	市展委員	果実一語らいー	吉岡 佐知
8	無鑑査	夢心に	草川 京子
9	草津市21世紀文化芸術推進協議会会長賞	初夏	後藤 寛治
10	佳作	翠微に流る	眞野 滋夫
11		鷹	草川 せつ子
12	市展デビュー賞	角をまがると	本田 充
13		仔馬	タカハシ キクヨ
14	佳作	里山	中川 きよ美
15		C a t c h (水を掴む)	園 滋
16		鶏頭花	操田 順子
17		あめふりさんぽ	大谷 真由美
18		冬の日向灘	前田 澄子
19	出品委嘱	春を待つ	北村 恵美子
20	出品委嘱	散ルモウツツ	稲岡 仁彦

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

洋画

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1	無鑑査	遊びの時間	木村 順一
2	無鑑査	気配	石橋 国夫
3	無鑑査	峠の山道	四方 勉
4	佳作	舞鶴・吉原の入江	吉岡 友太郎
5		春を呼ぶ煙	奥野 なつゑ
6	えふえむ草津賞	遠い昔の語らい	蓮見 美穂
7		みんなで泳げば怖くない！！	橋本 京佳
8		青葉 薫る	宮村 博
9		鶏冠	札本 倫子
10		朝もや	堀井 信彦
11		蓮池	林家 清子
12	佳作	A u t u m n	村上 陽子
13	草津市議会議長賞	バスクの農家	石川 由紀子

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
14		モンスター	増山 恵子
15		F l o a t	中島 雪菜
16		冠雪の比良	前田 英雄
17	市展委員	森の小径・春	森 邦博
18	出品委嘱	遠き日（夜店エスキース）	岡島 春美
19	出品委嘱	清滝川	田中 孝
20	審査員	ある風景の痕跡' 2 5－3	黒川 彰夫
21	市展委員	扉	矢野 信司
22	市展委員	刻音	山元 敏子
23		曾爾高原	大石 瑛子
24		ぼたん	堀 政子
25		荒れる海	井上 政憲
26	市展賞	生き抜く姿	山本 清子
27	市展デビュー賞	太古の力	尾上 節子
28		炎のよう	中西 淑子
29		奔流－雨竜の滝	藤井 吉久
30	滋賀県芸術文化祭奨励賞	樹々に佇む	河合 千恵子
31		北海道 トマム	山田 ひで子
32	佳作	秋のアンサンブル	溝辺 行雄
33		よろこび	眞野 秀一
34	毎日新聞社賞	伊根の舟屋	植西 勇人
35		七人の剣士	鎌田 和江
36		宵待ちの路地	白石 愛一郎
37	佳作	光の方へ	松田 芽依
38		カーンローの港	青山 美恵子
39	草津市社会福祉協議会会長賞	水辺の情景	鷹羽 雄二
40		門前町	湯ノ口 敏雄
41		望郷	畠中 博
42		アーチ	田中 美智子
43		「北の国から」	三上 幸子
44		比良の冬ざれ	野田 嘉郎
45	佳作	錦秋の沐浴像（びわこ文化公園）	塚本 薫三
46	草津市教育会会長賞	秋光	大森 治
47	佳作	千年鮭	藤井 康彦
48		倉敷にて	高畑 誠
49		古代文様	福原 和人
50		鎌倉大仏	中川 きよ美
51		水織音の宿	木内 悦子

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
52		ゴンドラの行き交う街	福田 昌甫
53	佳作	秋深む	加藤 房江
54		人間の内なる善と悪	富田 隆
55		多様性の多用化は他用可？	平野 有希
56		オクトパス・フェスタ	佐藤 裕
57		鳥が舞う調和の世界	讃岐 英知
58	佳作	祈り	福原 光子
59	特選	生命	野崎 かおる
60		カミングアウト	西村 征一郎

彫刻

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1	市展デビュー賞	不安と自信	藤本 三福
2		タマライト	木村 順一
3	特選	夏空	大西 健之
4		わたしの１７歳	田淵 花歩
5	出品委嘱	雨あがり	嶋畑 貢
6	市展賞	優	廣瀬 一行
7	出品委嘱	飢え	土田 隆生
8	草津市美術協会 会長賞	微笑	橋本 陽多
9		彫刻刃仏像「阿弥陀如来」	松本 一秀
10		視る	橋本 留依
11	無鑑査	逃	伊庭 照実
12		S k i n	木戸 悠人
13	審査員	野にありて	笹山 幸徳
14	佳作	金剛蔵王権現レリーフ	北川 良一
15	市展委員	天平の光～語りかける指～	伊庭 靖二
16	市展委員	宇宙—そらいろ—	石田 秋次

工芸

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1		漂う	森貞 豊子
2		道	馬場 恵子
3		お爺さんの夢	吉田 俊明
4	平和堂賞	一会	船越 育代
5		静寂の脈動	北口 由美子
6	市展賞	(切り絵) 天井に棲む龍	藤本 信也
7		小宇宙	藤井 建

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
8	佳作	闇輝手まり白い曼殊沙華	芳賀 隆弘
9		エンジェルの滝	福田 ちず子
10	佳作	ケチャ ダンス	深田 宏
11		ダルマさんが翔んだ	阿部 美姉子
12		林檎	石岡 浩代
13	中日新聞社賞	死んだ宝石	草瀬 真吾
14		城絵花器	宮本 稔
15		自身のうで	新田 晃久
16	市展デビュー賞	森の守り神	綾井 喜一郎
17		ホット ドッグ	遠藤 幸雄
18		さけ（魚）	辻井 信夫
19		深く青く	安井 智ゆき
20		Mr. Snowman AND little snowie	高木 ヒロユキ
21		シン・古代土器	中野 和彦
22		どんと こい	國本 繁雄
23		荒天の月	梶本 幸輔
24	特選	めぶき	寺西 健二
25	草津商工会議所 会頭賞	超分かる！ウィザード入門 魔導書	池本 政也
26		その手の先に花が舞う	ワンダーワ ールドまなみ
27		春のにぎやかな登園	山本 しのぶ
28		ボトルの中の薔薇園	阿月
29		のどか	森田 幸子
30		天平美人	村上 智
31		モネに魅せられて	伏木 利子
32		羊の親子	加地 景子
33		古稀の顔	岸 紀雄
34		趣味で人生楽しく	山本 紀久子
35		オブジェ	片岡 正繁
36		緋色の世界	家島 健二
37		風舞	木下 ゆみか
38	出品委嘱	雪解	高橋 政男
39	出品委嘱	赤織部彩扁瓶	片山 雅美
40	市展委員	夢の中の記憶	三原 サダ子
41	無鑑査	秋景いろは坂	江川 勝子
42	審査員	晩春	井隼 慶人
43	市展委員	湖辺	下川 まち子

書

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名	雅号
1		王勃の詩	奥村 守男	守峰
2		五言句	竹越 律子	湖春
3		丘為詩	中島 民恵	
4		使至塞上	亀井 よし子	佳芳
5	出品委嘱	光風動春	岡田 優三	祖翠
6	審査員	春風弄新陽	山本 清一	南竹
7	出品委嘱	心靜興長	岡本 了壽	藍石
8	市展委員	禪林語句	中村 徹	徹堂
9	市展委員	安穩無事	今居 潤子	青桃
10	市展委員	尾崎放哉の句	川添 裕子	翠湖
11	無鑑査	野見山朱鳥の句	小野澤 絹代	蕙湖
12	無鑑査	毛沢東の詩より	長谷川 久枝	桂園
13	無鑑査	高浜虚子の句	徳地 ひさみ	湖咲
14	無鑑査	額田王の歌	三浦 久美子	清舟
15	無鑑査	我堂徳有隣	小倉 緑	翠苑
16	無鑑査	漢詩	及川 淳子	青湖
17	佳作	晚坐南齋寫懷	坂口 美智子	美峰
18	佳作	曲江早春	澤本 なつ子	奈香
19	佳作	五言句四首	吉川 幸子	
20		五言句	我孫子 弘子	弘湖
21		季応期詩	新庄 さとみ	
22	佳作	五言句	久保 敦子	紫湖
23	佳作	梅堯臣詩	松宮 孝明	
24	朝日新聞社賞	霊峰山房にて夜起す	西川 文	文苑
25	草津ライオンズ クラブ会長賞	観獵	宮崎 誠司	海山
26	NHK大津放送局長賞	詠懷	泊 孝信	響山
27	市展賞	蘇軾詩	山田 今朝子	
28	特選	春一日	長谷川 豊博	
29	佳作	いはばしる	横山 郁恵	
30	市展デビュー賞	竹里館	高橋 喜久代	香伶
31		萩花の路	畑中 真弓	
32		流雲華月吐	坂木 葵	紫音
33		五言句	奥 綾	
34		五言句	中嶋 文子	湖響
35		萩花の路	井浦 貴子	
36		臨書・蘭亭序	杉浦 梨心	
37		七言絶句	西川 實智子	

※無鑑査の作品規格は、一般出品者とは異なります。

写真

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1		天変予兆	藤原 厚士
2		惜春	佐々野 京子
3		もういいかい	松村 里子
4		枯木立つ冬のダム湖	林 久雄
5		見えぬ心	本田 昭夫
6	佳作	朝風	鈴鹿 竹二
7		エールを送る (わたSHIGA輝く 国スポ2025年)	植田 信子
8	草津市国際交流 協会会長賞	夕照の水華	田村 昌也
9		ふたりの時間	中務 正人
10	佳作	にわか雨	加藤 國子
11		宇宙の神秘	杉立 好正
12	BBCびわ湖 放送賞	モノノ怪の住処	北垣 節子
13		高原黎影	仲野 隆
14		路傍の絵画	阿部 芙姉子
15	佳作	勝利のポーズ	荒川 道一
16	佳作	水面の円舞	平塚 亨
17	特選	時を隔てる壁	藤本 義隆
18	出品委嘱	びわ湖沖島	西岡 伸太
19		パラレルワールド	房安 幸夫
20		密集	中川 直人
21	市展デビュー賞	湖上の詩	中島 義人
22	審査員	浦佐スキー場跡 2024年8月4日18:16 新潟県南魚沼市浦佐	金澤 徹
23	市展賞	収穫のよろこび	田中 康明
24		老馬の憂い	永井 敏夫
25		ウインドー	丸田 良則
26	京都新聞賞	大きいぞ！	園田 みちゑ
27	佳作	白日夢	田中 延子
28		秋から冬え	吉田 利男
29	草津ロータリー クラブ会長賞	我が家へようこそ	池田 秀彦
30	草津市 コミュニティ 事業団理事長賞	繕う	田村 勇人
31		見惚れる	寺田 吉廣
32		秋彩の道	吉村 紀夫
33	佳作	瓦小径	樋口 浩司
34		白銀河	松田 奉子
35	KBS京都賞	異景	中村 友美

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
36		きざし	中嶋 和江
37		秋の暮	中田 守治
38	市展委員	祈祷	高谷 禮子
39	市展委員	天空の画布	倉田 幸雄
40		石の寺染まる	西村 敬治
41		花魁道中	山本 照夫
42	無鑑査	アンパンマン GO	木村 正司
43	無鑑査	生きる	二宮 紀彦
44	無鑑査	雨後	山元 國一
45	無鑑査	兆し	尾崎 良一
46		水の精のダンシング	浮田 千草
47		ラストステージ	岡本 展彦
48		孤愁	常石 由美子
49		今日の始まり	原 慎一郎
50		相棒	西山 秀一
51		窓辺の思い出	今野 俊和
52		幸せの春	西川 美恵
53		心が躍る	赤井 春雄
54		熱演	安東 晋司
55		輩	田中 博文
56		愛嬌	川端 清志
57		悠紀斎田お田植まつり	藤村 武興
58		霧幻峡	詫間 秀夫
59		集光	川嶋 健次
60		優雅	氷見 善信
61		夕照金波	山元 英雄
62		パトロール	久島 正博
63		唯一無二の造形美	木村 孝一
64		秋の夕日に	田中 順子
65		晩秋朝の流れ	小寺 勝久
66		アーバン・オアシス	山田 力
67		誘惑	中村 若枝
68		雨後の彩	小川 武司
69		鏡の中の一瞬	中森 ますみ
70		晩秋の雨	野村 昭夫
71		ウエディング	坂上 ミユキ
72		巨大ロボット「X」完成	中谷 恒夫
73		蜃気楼！	佐々江 勝
74		引き潮の朝	百武 忠

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
75		届け！願いよ	広岡 昇
76		暗雲	寺田 裕彦
77		乙女たちの休日	藤田 文子
78		追憶	伊吹 達郎
79		紅に輝く	永井 美保

イラスト

展示順	賞名等	題名	氏名又は作家名
1		たおやかに佇む	ワンダーワールドまなみ
2		コスモス畑で会いましょう	かふか ゆまお
3	市展デビュー賞	春の足音 ～FOOT STEPS OF SPRING～	村田 真衣
4		喜寿のお祝い	川道 将人
5		ヒクイドリ 覚醒	清水 圭子
6		自失	齋賀 一磨
7		あおばなを見回って	坂発見
8	読売新聞社賞	水の精～静寂の中の躍動～	前山 三紀子
9		忘却の栞	堤 啓太郎
10	市展賞	夢のような光景	佐野 いおり
11		波浪	宮本 奈緒
12	佳作	お祭りで踊るダニたち	宇野 温子
13		育て、育む	林 瑛音
14	レーク滋賀農業協同組合代表理事理事長賞	大脱走	村上 永愛
15		KAWAii！	ポタン
16	審査員	夕香	横山 夢
17	市展委員	こんな日には	上原 結子
18	市展委員	ひだまり	和田 美紀
19		虹の橋のたもと	福田 和輝
20		花に風	片岡 節哉
21		空の上より	うえはら あすか
22	佳作	優しい食いしん坊	安田 裕奈
23	特選	圏外生物	石橋 禄
24		似顔絵	園田 稔
25		夏の遊び	みり

日本画

(審査員) 水 野 収

○総評

時間を十分にかけ、質までしっかり描こうと努力された作品が目立った。昨今の目を引こうとする作品が多いなか、こうした写実（五感を通じて感じとったイメージ）を大切にされる傾向は、制作者の画境が深まることが期待される。

○市展賞

「碧い扉」

西野 薫

特に質の表現にこだわった作品である。絵具を入れたり取ったりした緑青と錆色の交錯が美しい。また線の構成もシンプルでおもしろい。

○特選

「タコノキ」

仲川 千秋

空間とタコノキの関係の良さが魅力の作品である。緑の色調、枯れた葉、空間の白っぽいブルー、それらの解け合う空気感が美しい。

○特選（草津市教育長賞）

「山寺」

太田 由紀子

長年風雨にさらされた木の質に作者は魅力を感じたように思う。その質の表現の工夫と共に、山寺のファサードの形の良さもしっかり表現された秀作である。

○特選（草津市21世紀文化芸術推進協議会会長賞） 「初夏」 後藤 寛治

一見して、堪念に時間をかけて産まれた努力作である。主となる大樹、その大地を掴む根の力、水々しい森の存在感等、作者の自然観がひしひしと伝わってくる。

洋画

(審査員) 黒川 彰 夫

○総評

昨年同様に風景画が多く、会場全体に空間を感じます。もう少し隅々まで神経を使って描くと良くなる作品が多く見られました。画面の中でその色が、形がどう作用しているかを見ながら制作を進めて下さい。描きすぎたり、描き不足だったり、画面の中にむらのない様にして下さい。明る過ぎる事、暗過ぎない事を最も注意して制作して下さい。

○市展賞

「生き抜く姿」

山本 清子

色彩の美しさが際立った作品です。油彩が少ない中、絵の具の使い方もしっかりしています。手前のものと、中間のもの、奥のものと、しっかりと描き分けされていていい作品になりました。

○特選

「生命」

野崎 かおる

やく杉の重量感が感じられる作品になりました。緑色の変化、明暗の調子も良く描けています。ただ下の方の緑をもう少し明るくすれば、杉の木がもっと強く前面に出て来ると思います。

○特選 (草津市教育会会長賞)

「秋光」

大森 治

手前に当る光、稲むらの奥の光など美しく表現されていますが、それに対して空の調子が暗すぎたようです。左下のブルーの存在が、画面の中で効果的に働いています。

○特選 (草津市議会議長賞)

「バスクの農家」

石川 由紀子

水彩の美しさが出た作品です。細部にわたる色の表現に神経を使い、ものの存在をうまく描き分けています。光の入れ方も良く描けています。

○特選 (えふえむ草津賞)

「遠い昔の語らい」

蓮見 美穂

題名の通り昔の面影を思い出す情景を良く表現されています。茶系の色彩の階調が非常にうまく描かれています。それぞれの形が固くならず明暗の調子を使い、いい雰囲気になっています。

○特選（毎日新聞社賞） 「伊根の舟屋」 植西 勇人

全体にグリーン系の調子で描かれ、良くまとまった作品になりました。水の表現家並のそれぞれの描き分けが良く出来ています。ただ水面に映った船の影の白さが気になります。

○特選（草津市社会福祉協議会会長賞） 「水辺の情景」 鷹羽 雄二

水面に映った情景をうまく捉えたいい作品になりました。実風景と水面の明暗を付け、幻想的な雰囲気になっています。木々の白さが単調になった所が残念です。

○特選（滋賀県芸術文化祭奨励賞） 「樹々に佇む」 河合 千恵子

水彩でありながら深味のある色調が良く出ています。明暗の捉え方も自然に表現されています。全体の表現がこれ以上固くならない様にして下さい。手前と、後の木々の表現にまだ研究の余地があります。

彫刻

(審査員) 笹 山 幸 徳

○総評

社会情勢が不安定で混沌とした中、文化芸術の秋を迎え、一時でも心の安らぐ時間を持ちたいものです。今回の彫刻部門は出品点数も増え、材質も技法も多種多様であり、変化に富んだ充実した展覧会になっています。審査にあたってはどの作品も瑞々しさや熱意があり、緊張感を持ちながらも楽しく、嬉しい時間となりました。

○市展賞

「優」

廣瀬 一行

清楚で繊細な印象のある胸像です。十分な技量もあり、全体のバランスも良く爽やかな緊張感のある秀作です。

○特選

「夏空」

大西 健之

しっかりとした安定感のある頭像です。静謐で品格があり、細部まで仕事になされた堂々とした作品です。

○特選（草津美術協会会長賞）

「微笑」

橋本 陽多

素朴で大らかな裸婦像。題名「微笑」とあるように、見る者に優しさや安心感を与えてくれる作品です。

工芸

(審査員) 井 隼 慶 人

○総評

第63回展は昨年度と比して出品者が増え、大変喜ばしく思います。立体・平面とも技術的・素材的により深く思考した作品や、自由な気持ちを直接前に出す制作もあり、ものを作る喜びが、前に出た制作が多く見られ、充実した会場になりました。

○市展賞 「(切り絵) 天井に棲む龍」 藤本 信也

染色分野での布に図を染める手段の一つである型染の基本となる型紙そのものを表現そのものとして使用しています。素材と技法の関係をある意味無視することで工芸分野での表現と技法とは何かを問う作品です。型紙を複数枚彫り重ねることにより現場の空気感がとても良く表現されています。電光源の使用も表現の助けとなっています。

○特選 「めぶき」 寺西 健二

とても豊かではりのある作品形態が気持ちを豊かにさせてくれる作品です。作者の春への新しい希望が制作の基にあることが明解に表現されています。焼き色の褐色の地肌は、視覚的に鮮やかな緑色を感じさせてくれます。

○特選 (草津商工会議所会頭賞) 「超分かる！ウィザード入門魔導書」 池本 政也

題名の意味、内容は正確にはわかりませんが、表された制作を通して、ブックの自身を豊かに連想させる制作で、本の中で繰り広げられるお話やそれに関わる制作者の思いが見る者と共有できる、ファンタジックな作品です。楽しく見させていただきました。

○特選 (平和堂賞) 「一会」 船越 育代

丹精を込めた手法。金属素材を丹精に込めて制作された作品はとても気持ちよく、平面表現の中に日本の文様を詩情豊かに再確認させてくれます。隙のない画面構成が優れています。

○特賞 (中日新聞社賞) 「死んだ宝石」 草瀬 真吾

オオサンショウウオの生きた生命力が大きな表現となり、豊かな想像力が共有出来る制作です。何よりも素材自体をとらわれなく用いる気持ちは大変気持ちの良いものです。宝石は死んでいません。

書

(審査員) 山 本 南 竹

○総評

昨年より若干出品数が減少したのは残念ですが、出品された作品は気力溢れる作品ばかりでした。各自日頃勉強されている古典を基調とした作品制作に全力を投じられていることが作品から感じられます。壁面芸術となった書の作品づくりには気力と体力が必要です。次回は更なる力作が出品されることを望みます。

○市展賞

「蘇軾詩」

山田 今朝子

ゆったりとした巧みな文字造形で明快な作品となっています。文字の大小の変化と横への広がり全体のリズムとバランスが上手にとられています。

○特選

「春一日」

長谷川 豊博

小さく密度の高い文字群からゆったりと伸びやかな文字群への展開。最後は動きを小さくして流れをおさめています。起承転結の流れが美しく、墨量の変化がより一層仮名作品として美しさを高めている作品です。

○特選 (草津ライオンズクラブ会長賞) 「観獵」

宮崎 誠司 (海山)

伸びやかな直線と力強いタッチで勢いを感じる作品です。含墨部は密度を高く徐々に渴筆部へ展開して明るさを出し、疎密のリズムが美しく感じられます。

○特選 (朝日新聞社賞) 「靈峰山房にて夜起す」

西川 文 (文苑)

曲直の変化と字間の密度を高くし、各行一本の筋が通って縦への流れが美しい作品。渴筆部も筆圧をゆるめず、気力の充実感が溢れています。

○特選 (NHK 大津放送局長賞) 「詠懷」

泊 孝信 (響山)

文字の大小、墨量の変化が自然で、縦への流れが美しい作。各文字群の終わりに草書を配し、黒白の変化をより一層美しくしています。密から疎への変化が計算された作品です。

写真

(審査員) 金 澤 徹

○総評

写真は「写す」ということに視点をおいた場合、銀塩時代の露光や焦点合わせ、フィルム装填の自動化などの技術革新を経て、デジタル化による進化とともに、誰もが扱える身近な表現手段へと発展しています。機材の高性能化で撮影に集中しやすくなっていますが、見たものや感じたものを表現するには、撮影者それぞれの意思や感性が欠かせません。また、他者に伝えるためには、経験の多寡にとらわれず、新鮮な視点で感動を写し出し、作品として磨きあげていく姿勢が大切です。

○市展賞

「収穫のよろこび」 田中 康明

春から丹精を込めて育ててきた田んぼの稲。収穫をあふれるように持つ両手の細部からストレートに表現されています。この作品の持つ迫力に圧倒されています。

○特選

「時を隔てる壁」 藤本 義隆

この壁の向こうではどのような時を重ねてきていたのでしょうか？幻想的な夜のシーンに想像力が掻き立てられます。

○特選（草津ロータリークラブ会長賞） 「我が家へようこそ」 池田 秀彦

この猫ちゃんの表情はちょっと怖くも見えます。タイトルから考えると自分の住处への入口で、面倒くさいけれども来訪者を迎え入れてくれているのでしょう。

○特選（草津市国際交流協会会長賞） 「夕照の氷華」 田村 昌也

波しぶきと浜の上の「氷華」が、冬の琵琶湖の美しさを伝えています。

○特選（京都新聞賞） 「大きいぞ！」 園田 みちゑ

写っているこどもさんたちと楽しく会話をしながら芋掘りをしていたのでしょう。とてもほんわかとする良い作品です。

○特選（KBS 京都賞）

「異景」

中村 友美

面白い場所の中に、カラフルな服装の女性が傘を持ち、スマートフォンを見ながら絶妙な位置を歩く姿がとてもコミカルです。風景にあるオブジェ群も見る人の遠近感を錯覚させ、不思議な感覚にさせています。

○特選（BBC びわ湖放送賞）

「モノノ怪の住処」

北垣 節子

不思議な空間を見つけた上に、透過するものや反射するものの複雑な絡みあいをよく計算して作られた面白い作品です。

○特選（草津市コミュニティ事業団理事長賞） 「繕う」

田村 勇人

写っている人の眼鏡の先にはどのような繕いものがあるのでしょうか？細かなところに集中する姿が力強く記録されています。

イラスト

(審査員) 横山 夢

○総評

今回は、初応募の作品が増えました。CG、切り絵、水彩、様々な手法で描かれた世界はいずれも観る人の心を動かす魅力があります。

○市展賞

「夢のような光景」

佐野 いおり

クジラ、大小様々な魚達が少女の夢の中いっぱい生き生きと泳いでいる光景のダイナミックさが、想像の世界の果てしなさを感じさせます。観る人の心を広くするような構成と色彩が素晴らしいと思いました。

○特選

「圏外生物」

石橋 緑

工業機械のような建築の中を飛翔する天使達。面白い画面構成と白黒のコントラストです。細密に描かれたインク画に観入っている内に、絵の中の世界観を想像していることに気付きます。白と黒という限られた表現の中に制作者の描きたいという強い気持ちを感じました。

○特選（レーク滋賀農業協同組合代表理事理事長賞） 「大脱走」 村上 永愛

ティータイムから逃げだす擬人化されたスイーツ姉妹の表情がそれぞれの役割を想像させ、描かれた世界のストーリーに思いを馳せてしまいます。紙の白が綺麗に見える着彩で、寒色暖色のバランスもよく考えられた構成です。

○特選（読売新聞社賞） 「水の精～静寂の中の躍動～」 前山 三紀子

古代の神殿に月の光が満ちて現れる水の精、夜の暗さと月明かりの清らかさを深い色合いが神秘的に表しています。水の透明感、光の輝きの表現、明暗の抑揚等、近景から遠景まで考え抜かれた構成は見事です。

